

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス サンFC金沢南		
○保護者評価実施期間	令和6年 1月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和 6年 1月 1日		～ 令和 6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体育館やグラウンドで思い切り体を動かすことができること	・思い切り体を楽しく動かしたり、身体の発達を促すような運動メニューを考えている。 ・使用したい体育館に直接電話や赴き丁寧に説明して交渉している。 ・体育館を使用する際の届け出書などの漏れがないようにしている。	・子どもの成長、特性に合わせて運動メニューの見直しを行っていることを継続する。
2	・ルールや約束を守ったり、社会性が身につく。	・ルールや約束を言葉だけでなく視覚的にも配慮してカードや絵、文字など、子どもの特性を配慮して伝えている。 ・出来なかったことよりも、出来たときに大いに褒めて信頼関係が深まるようにしている。 ・サッカーの練習前後に子ども自身が考えられる場や、なぜルールが必要か、守ると気持ち良いことなど話す場を設けている。	・保護者報告書を作成して配布しているが、配布するだけでなく、更に一人一人に深掘りをして支援する。
3	・子どもたちの姿が短い期間で変わり保護者から感謝の言葉をかけてもらうことで、職員はサッカー療育の良さを実感しやりがいを感じられる。	・毎日支援内容内容などについて、話し合いをすることで職員のスキルアップに繋がっている。 ・担当児童を決めて記録をとり、会議をしている。	・定期的に担当児童の入れ替えを行い、更なるスキルアップをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・会話のやり取りが難しい子どもの集団への参加が難しい。	・サッカーができるお子さんが多いため、個別の支援が難しい時がある。	・児童の気持ちに寄り添い、個別のメニューを考えて支援している。
2			
3			